

# 映画「世界でいちばん美しい村」上映会

絶望の先に本当の希望があった

# 世界で いちばん美しい村

ネパール大地震の震源地に向かった写真家が出会ったのは

愛と祈りと絆で結ばれた

世界でいちばん美しい村だった



震災被害を伝えるだけでなく、そこで生活する村人の生活や美しい自然の姿をトータルで伝えるからこそ人々の心に浸透していく。監督の作品に改めてネパールは美しいと感じ、またそこで逞しく生きている人々の姿にネパール大震災を風化させてはならないと感じた。この映画から美しいネパールを感じてほしい。そしてこれからもネパールを愛してください。野口健（登山家）

タイトルの『世界で一番美しい村』には、美しさとは何か、という深い問いが含まれている。ゲーテが「時間よ止まれ、君は美しい」と言ったように、人間存在の高次の形容のための言葉として『美しい村』が選ばれている。これは「美しい」を美醜の領域に駁めてしまった人間に対する、監督からの挑戦のように思えた。田口ランディ（作家）



2024

12/15(日)

- ①午前10時30分～
- ②午後 2時00分～

鳥取県立博物館  
講堂

監督・撮影：石川莞 ナレーション：倍賞千恵子

エグゼクティブプロデューサー：広井王子 プロデューサー：石川莞

撮影助手：宮本麗 編集：鏡輪広二 編集協力：道正由紀 音楽：Binod Ketuwal ※はなおと\*

オフィシャルサポーター：関野吉晴 野口健 栗城史多 高橋ツトム 安田葉津紀 佐藤利明 宮崎学 竹沢うるま 田口ランディ 岡本有子 西条剛央 長倉洋海 林典子

2015年4月、ネパール大地震により9000人以上の人々が亡くなった。日本人写真家石川莞は大地震直後ネパール、カトマンズへ飛んだ。そしてジャーナリストとして初めて最も被害が深刻といわれるヒマラヤ山岳地帯の震源地へ向かった。シーブと徒歩で2日間、山道を開拓しながら辿り着いた震源地の村、ラブラックは家屋がことごとく破壊され、村は壊滅していた。カトマンズからの報道からは見えてこないネパール大地震の現実だった。村で石川はひとりの少年と出会った。澄んだ瞳をした、14歳のアシュパドルだった。(2016年/日本/ドキュメンタリー/108分)

【主催】シネマふねえとる【後援】鳥取市、鳥取市文化団体協議会、新日本海新聞社【入場料】前売&予約1,200円(当日1,500円)

【連絡先】080-8907-9293 cinefune@hi3.enjoy.ne.jp シネマふねえとる <<<ただいま予約を受け付けております!>>>

★便利でお得なチケットの予約(前売券代金、当日精算)は、電話 080-8907-9293 または メール cinefune@hi3.enjoy.ne.jp で氏名をお知らせください。

シネマふねえとる

令和6度鳥取市民文化祭参加